

犬山市観光戦略策定支援業務仕様書

1 業務名

犬山市観光戦略策定支援業務

2 業務目的

犬山市は、国宝犬山城とその城下町、テーマパーク、神社仏閣など多くの観光資源を有する東海地方有数の観光都市である。城ブームやインスタ映えを狙った若い女性の来訪が増えるなど客層や趣向も変わってきている状況にある。犬山市における観光の傾向は滞在時間が短い、日帰り観光地となっていることもあり、東海地方有数の観光都市でありながら、観光に関連が深いと思われる「宿泊業・飲食サービス業」が犬山市全体の売上高、従業者数に占める割合は、売上高約4%、従業者数約8%であり、犬山市の産業と言うには心許ない状況である。

その中であって、令和元年8月末をもって名鉄犬山ホテルが営業を終了し、2年後には外資系のホテルが営業を開始する予定である。また、リニア中央新幹線開通を控え、犬山市の観光を取り巻く環境が劇的に変化しようとしている。この状況をチャンスと捉え、観光を基幹産業へと成長させていくことが重要である。そのため、観光に関する精緻な調査により集められた客観的データを基に現状分析した上で、10年、20年先を見据えた観光戦略を策定し、施策を展開していく必要がある。

本業務は、犬山市における観光客の動態や特徴等を調査分析するとともに課題の抽出、観光施策を提案し、令和2年度に策定を予定している犬山市観光戦略の基礎資料とするとともに、その調査分析結果等を観光戦略会議委員等の関係者と共有することを目的とする。

3 契約期間

契約締結日の翌日から令和2年3月30日まで

4 業務内容

(1) 各種調査の実施と分析

観光戦略を策定するにあたり、その基礎資料となる犬山市への観光客の動向、意向、地域の現状を把握するため、次の各種調査を実施する。また、調査結果の分析、検証を行い、今後取り組むべき課題を抽出し、明確化すること。

ア 位置情報ビッグデータ（GPS等）を活用した観光動態調査（必須）

- ① 直近の連続した過去1年間分のデータを利用すること。
- ② サンプル数は客観的なデータとして信用に足ること。
- ③ データの分析を行うことにより、観光客の居住地、滞在時間、犬山市内外の周遊状況及び宿泊地等を明らかにし、観光客の行動実態等を把握すること。

イ インターネットアンケート調査（必須）

- ① ウェブサイト等を利用し、認知度、関心度等のアンケート調査を実施すること。
- ② 調査回数は1回以上とすること。
- ③ サンプル数は客観的なデータとして信用に足ること。

- ④ 調査票の質問項目数は10個以上とすること。
- ⑤ 調査票の設計、作成、集計、データ分析等を行うこと。

ウ 観光地点調査（必須）

- ① 市内観光施設等で観光客に対してアンケート調査等を実施し、消費額、満足度などを調査すること。
- ② 調査実施場所は10地点以上とすること。
- ③ 客観的なデータとして信用に足るサンプル数を行うこと。
- ④ 調査票の質問項目数は10個以上とすること。
- ⑤ 調査票の設計・作成、集計、データ分析等を行うこと。

エ 他に観光戦略策定に向けて必要となる調査（提案調査）

- ① アからウの各調査を網羅した上で、他に効果的な調査を提案上限額の範囲で提案できる場合は、企画提案書に具体的に記載すること。
- ② この調査の提案は必須ではない。

オ アからエの各調査に関する共通事項

- ① 調査票の設問項目等の詳細は、犬山市と協議の上、決定すること。
- ② 郵送等が必要な場合、封筒（送付用、回収用）の調達、封筒等の印刷、郵送に係る経費等については、受注者の負担とする。

(2) 総合分析、観光施策の提案

- ① すべての調査を組み合わせた総合分析を行うこと。
- ② 市内における周遊状況、滞在時間等の分析を行うこと。また、犬山城を含めた城下町エリア内の周遊状況等も分析すること。
- ③ 上記ア～エにより実施する調査以外に、国・県の統計、犬山市が持っているデータ等で参考にできるものは活用すること。
- ④ 受注者が独自に実施している各種調査、研究等の結果も活用すること。
- ⑤ 観光消費による地域経済への波及効果の推計を行うこと。
- ⑥ 分析結果を踏まえ、観光客の動態や特徴等をまとめるとともに、課題を抽出し、今後の観光施策に対する提案を行うこと。

(3) 会議運営の支援

次の会議の開催にあたり必要な支援を行うこと。

ア 犬山市観光戦略会議

- ① 観光戦略策定にあたり、学識経験者や関係団体の代表者等で構成される犬山市の附属機関となる会議体である。
- ② 戦略会議の開催にあたり、必要な資料作成の支援を行うこと。
- ③ 戦略会議は今年度中に2回開催予定。
- ④ 各回の支援内容は、事前に犬山市と受注者が協議の上で決定する。

イ 専門部会

- ① 戦略策定にあたり、観光戦略会議が設置する専門部会であり、学識経験者、観光関係者等で構成される会議体である。
- ② 専門部会の開催にあたり、必要な資料作成の支援を行うこと。

- ③ 専門部会は今年度中に3回開催予定。
- ④ 各回の支援内容は、事前に犬山市と受注者が協議の上で決定する。

ウ 観光まちづくり会議

- ① 市内の観光事業者、飲食店経営者、製造業者、農業従事者、学生等の参画による犬山市の観光全般における課題抽出、その解決策、地域で稼ぐ方策等を検討する会議体である。
- ② ワークショップのファシリテーターとなること。
- ③ ワークショップ開催前に犬山市と打合せをし、必要な資料等の準備を行うこと。
- ④ 観光まちづくり会議は今年度中に6回開催予定。

(4) 犬山市の業務に対する支援

業務を円滑に遂行するため、犬山市と連絡を密にし、必要に応じて打ち合わせを行い、助言や提案、支援を積極的に行うこと。

5 成果品

会議運営の支援に係る報告書以外の成果物は、令和2年2月28日までに納めること。

- (1) 各種調査に関する報告書 20部
- (2) 総合的な分析報告書及び観光施策に対する提案書 20部
- (3) その他本業務上作成した資料一式 1部
- (4) 上記(1)～(3)の電子データを収納したCD-ROM等

6 著作権の帰属等

本業務で得た成果品は、全て犬山市の所有とし、犬山市の許可なく無断で外部に貸与、使用または公表してはならない。